

原田処理区大規模雨水処理施設整備事業計画

(様式1)

項 目	内 容 ・ 施 策 等
選定理由	<p>豊中市は昭和27年度より原田処理区合流区域である新免排水区から下水道事業を開始したが、集中豪雨による被害をより軽減するため、平成11年度に計画降雨を5年確率降雨から10年確率降雨に見直し整備を進めてきている。原田処理区合流地区は、豊中市内でも地形的に雨に弱く、また初期に整備したことにより能力が不足している下水道が他地区に比べて多い地区である。平成18年には局地的豪雨により大規模な浸水被害が発生し、早急な浸水対策が急務としている。なお原田処理区は過去10年間に3回の浸水実績があり、床上浸水4件、床下浸水54件である。</p> <p>また、下水道を整備してから約60年が経過しており、ポンプ場の雨水処理施設の老朽化が進行している。これらの施設について適切な機能確保を図り浸水被害を防止するため、集中的な雨水処理施設の改築を実施する必要がある。</p>
整備目標	<p>① 本計画における対象降雨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本計画におけるハード・ソフト含めた対象降雨：51.1mm/h ・目標とする理由：下水道全体計画の目標である概ね10年に1回程度起こりうる降雨（51.1mm/h）であるため ・ハード整備による整備水準の目標：51.1mm/h（1/10確率降雨） <p>② 目標設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・51.1mm/hの降雨に対し、浸水被害を軽減することを目的とする。 ・ポンプ場設備を更新することにより、稼働停止に伴うリスクを軽減する。 <p style="text-align: center;">51.1mm/h 降雨の場合 停止時：最大水深20cm程度→稼働時：5cm未満</p> <p>③ハード対策，ソフト対策及び自助の役割分担について</p> <p>i)ハード対策</p> <p style="padding-left: 2em;">施設整備により51.1mm/h（1/10確率）の降雨において浸水被害を軽減することを目的とする。</p> <p>ii)ソフト対策及び自助</p> <p style="padding-left: 2em;">施設整備で対象とする降雨量を上回る想定最大降雨147mm/hの降雨において、下水道管理者による内水ハザードマップ作成・公表などの情報提供、地域住民への土嚢の配送、出前講座による防災意識の向上など、それぞれの主体が対策を実施することにより、浸水被害をできるだけ小さくする。</p>

項 目	内 容 ・ 施 策 等			
内水ハザードマップ策定状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 有 (令和3年3月策定済み) ・ 策定予定 () 			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管渠の整備 排除面積 12.2ha ・ 老朽化した雨水ポンプ場の整備 電気設備更新：監視制御設備、計測設備、制御電源及び計装電源設備 建築設備更新：空調・換気設備、消火災害防止設備
			下水道管理者以外	
		ソフト対策	下水道管理者	
			下水道管理者以外	
	自助	ハード対策		
		ソフト対策		

備考) 事業内容については主な施策について具体的な実施数量を記述

また、下水道管理者以外が行う施策については、道路管理者など実施主体、制度要綱等を具体的に記述

- * 下水道浸水被害軽減総合事業の要件に該当し、当該事業による制度拡充分にあたる施設の整備を実施する場合には、該当する施設をすべて記載すること（別紙可、下水道浸水被害軽減総合事業の様式を参照）。なお、下水道浸水被害軽減総合計画を策定済みの場合は、その施設調書を添付すること。
- * 下水道総合地震対策事業の要件に該当し、当該事業による制度拡充分にあたる施設の整備を実施する場合には、該当する施設整備を総合地震対策計画に位置づけること。
- * 下水道施設の改築（浸水に対する安全度の向上を伴わないもの）を実施する場合には、当該施設の改築を下水道ストックマネジメント計画に位置づけること。（総合地震対策計画に位置づけられている場合を除く）

年度計画（百万円）

名称	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	計
新免排水区	264	1886	658		2808
千里園排水区	141		35		176
桜井谷排水区				2	2
計	405	1886	693	2	2986

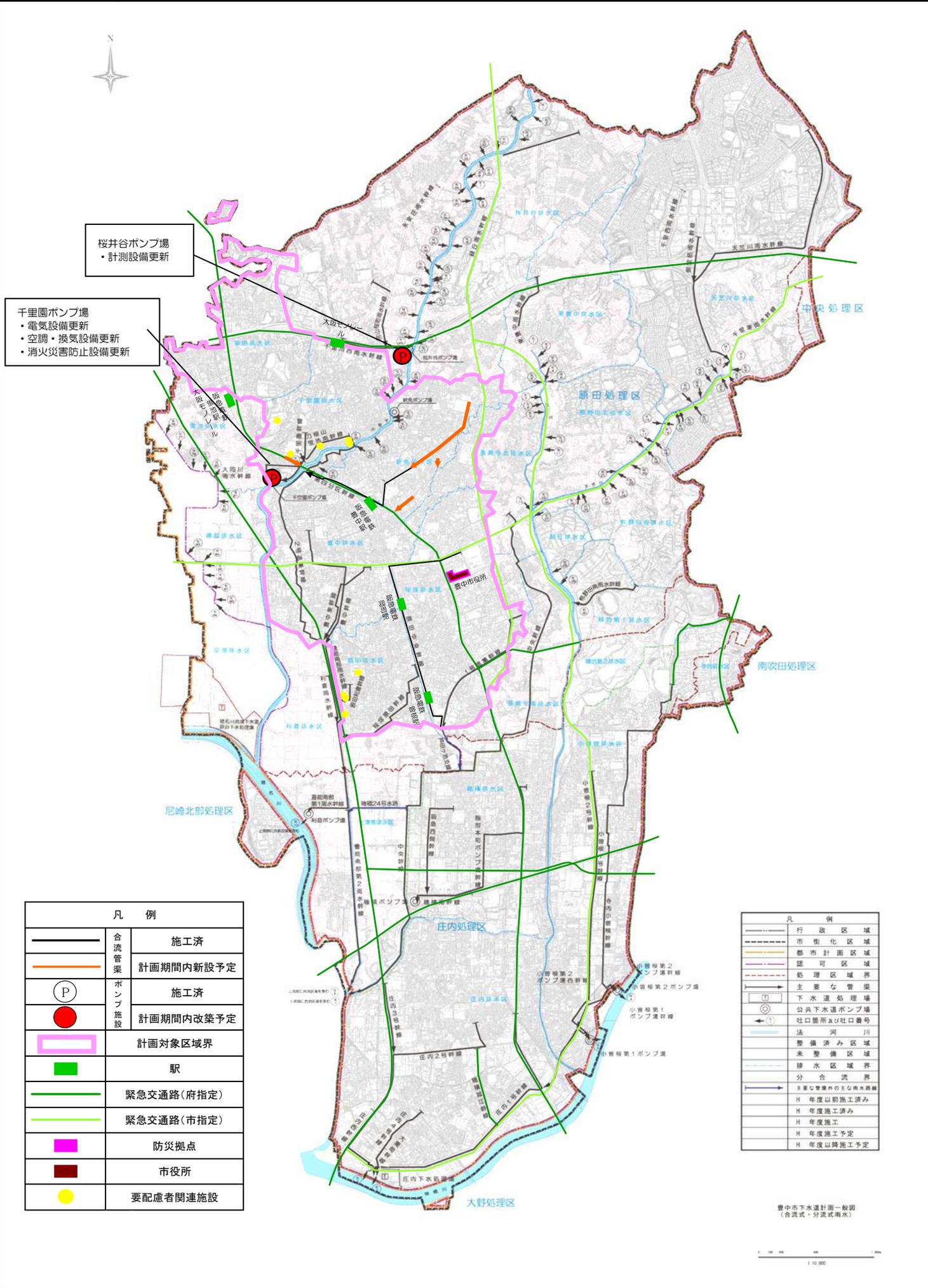
備考) 事業内容に位置づけた施設について年割額（事業費）を記述。

整備済のものは含めない。

項目	内容・施策等
整備効果	<p>(新規整備事業)</p> <p><事業評価の内容></p> <p>浸水被害の軽減便益：43,385百万円が削減される。</p> <p>B/C：7.1</p> <p>経済的内部収益率：100%以上</p> <p><その他の定量的な効果></p> <p>都市浸水対策達成率：10%→11%（市全体）</p> <p>(改築更新事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置から19年を経過している千里園ポンプ場について、雨水排水機能を適切に確保する。 ・設置から48年を経過している桜井谷ポンプ場について、雨水排水機能を適切に確保する。
放流先河川との調整状況	なし
その他	なし

(参考様式3) 参考図面

計画の名称	原田処理区大規模雨水処理施設整備計画	事業者	豊中市
計画の期間	令和6年度～令和9年度(4年間)		



桜井谷ポンプ場
・計測設備更新

千里園ポンプ場
・電気設備更新
・空調・換気設備更新
・消火災害防止設備更新

凡 例	
—	合流管渠
—	施工済
—	計画期間内新設予定
(P)	ポンプ施設
●	施工済
●	計画期間内改築予定
□	計画対象区域界
■	駅
—	緊急交通路(府指定)
—	緊急交通路(市指定)
■	防災拠点
■	市役所
●	要配慮者関連施設

凡 例	
—	行政区域
—	市街化区域
—	都市計画区域
—	認可区域
—	処理区域界
—	主要な管渠
—	下水道処理場
—	公共下水道ポンプ場
—	社口番号及び社口番号
—	法 河 川
—	整備済み区域
—	未整備区域
—	排水区域界
—	分合流界
—	主要な管渠内の主な雨水路
—	H 年度以前施工済み
—	H 年度施工済み
—	H 年度施工予定
—	H 年度以降施工予定

豊中市下水道計画一般図
(合流式・分合流式)